

長久手町議会議員

# さとう ゆみ



## 10月 議会報告

♡ No.2 2011年11月

〒480-1155  
長久手町平池409-A103  
Tel&Fax 0561-76-7811

E-mail: info@satoyumi.net

ブログ「きらめく未来づくり日記」日々更新中  
<http://ameblo.jp/satoyumi-nagakute/>



無党派・市民派

今年も木々が華やかな色に染まり、日増しに寒さが加わってまいりました。10月には、新町長が就任して初めての議会が開かれました。これから新町長が選挙公約として掲げた「住民プロジェクト絆」など、今までなかった新たな取り組みが始まります。私は、行政のすすめることをよく確認し、議員としての役割を果たしていきます。ぜひ、みなさまのご意見をお聞かせください。

### さとうゆみ議会報告会

12月3日(土) 14時～16時  
1月14日(日) 14時～16時  
長久手交流プラザ 1階中会議室1  
申し込みは不要ですので、お気軽にお越しください。

### 10月議会から

## 市が洞小学校のプレハブ教室数 急な方針転換

10月の議会に、補正予算として市が洞小学校の「仮設(プレハブ)校舎設置工事等監理委託」と「校舎増築工事基本設計委託」が出されました。

9月の段階では、「プレハブ校舎7教室で5年間対応する」という町の教育部局の方針でしたが、補正予算で出てきたものは、「プレハブ校舎7教室を4教室に減らして2年間の対応とし、新たな校舎の増築を早める」という内容でした。そのように変更することは、教育部局の中だけで決定し、町教育委員会で議論がなされていませんでした。1カ月での大幅な方針転換は、十分議論された結果なのか疑問です。

また、新たな校舎の教室数は、「基本設計をして、利用できる敷地に最大いくつ造れるか」を確認してから決めるという、普通では考えられないすすめ方です。新たな校舎は、開校当初の計画では最大6教室でありましたが、その倍以上の教室数が検討されています。そうなれば、過密化したマンモス校になることは避けられません。

現在、市が洞小学校の生徒数は約780名ですが、平成29年では約1300人との推計(右表★)が出ています。学校関係者からも、「市が洞小学校は運動場が狭く、体育の授業や行事など学校運営に支障が出る。」という声があります。地域のみなさんへの説明会は、来年夏以降の予定とのことですが、町教育委員会はもっと早い時期に「市が洞小学校の現状と今後の見通し」を説明する責任があると考えます。

クラス数・児童生徒数推計表(第2回学区適正化検討委員会の資料から)

転用後の最大教室数 (特別支援 内数)	H23 実績	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
長小	23 (2)	20 584	20 594	19 596	19 581	20 577	20 593	22 634
西小	27 (2)	17 487	17 502	18 522	20 532	21 561	22 587	22 618
東小	10 (1)	9 211	8 195	8 203	9 204	11 213	11 226	12 241
北小	30 (2)	24 732	25 774	26 804	27 826	27 853	29 933	30 1004
南小	34 (2)	23 730	23 720	23 716	23 703	23 713	24 731	25 734
市小	26 (2)	26 783	27 859	29 955	32 1056	34 1167	37 1233	39 1289★

市が洞小学校は、開校当初普通教室は24教室でしたが、現在「生活科室」と「第2音楽室」を普通教室に転用し26教室としています。これ以上の転用は不可能であり、来年度から教室が不足するためプレハブ校舎で対応することになっています。

●平成24年4月～26年3月までプレハブ校舎で対応 ●平成26年4月～増築校舎で対応

※小1、小2は35人学級、その他は40人学級。  
( )は、特別支援クラスの教室数とする。

## 議員定数2人削減が決定

今議会に議会運営委員会として、「議員定数20を18とする条例改正案」を提出し、賛成多数(反対2人)で可決しました。2015年4月に予定されている次期選挙から適用されます。

## 市制施行に伴う住所表示の決め方に納得できない

さとうゆみは、議案「市制施行に伴う字の名称及び区域の変更」に反対をしました。この議案の内容は、7月に行われた「市制に伴う住所表示に関する住民アンケート」の結果に基づき、市制施行後大字名である「岩作」「前熊」を残し、「長湫」「熊張」をなくした住所表示とするものです。

町は、いったん大字名をすべてなしにするとして広報4月号などで住民にお知らせをしましたが、「大字名を残してほしい」という請願が6月議会に住民から提出されたことがきっかけで、住民アンケートを実施することにしました。しかし、町は請願を出した方々と話し合いをする場さえ設けず、時間もないからと言って簡略的な内容のアンケートで済ませてしまいました。本来、アンケートというのは意見の集約であり、表決するためのもの

ではないはずです。回答率も48.8%と低く、このアンケートをもってこの先何十年と使う住所表示を決めたのは稚拙な手法だと考えます。

アンケートの結果、大字名が残るところとなくなるところが出るというアンバランスなこととなりました。「岩作」地区に関しては、「大字名を残す」と希望した住民が50.1%、「大字名を付けない」と希望した住民が48.8%という僅かな差で大字名を残すことになりました。市制施行に向けて、当初の段階からもっと慎重に住民と協議していくべきでした。

本会議での採決の結果、この議案は賛成議員15人反対議員4人で可決されました。

## 小、中学校のトイレの改修はこれ以上後回しでいいの!?

**Q** 老朽化した学校のトイレは、洋式の割合が低く臭いの問題があるため、根本的な改修をすべきではないか。

**A 教育文化部長** 根本的な改修の時期に来ていると思うが、学校関連の別の新築工事でお金がかかっているの、財政的な余裕ができたなら検討する。

**Q** 教育の予算は枠が決まっているのか。

**A 教育文化部長** 特に枠は決まっていない。

**Q** 「子どもたちの未来のために」を掲げて当選した町長は、このような学校のトイレの現状をどう考えるか。

**A 町長** 改善が必要だと思うが、町内の多くの公共施設が同時に大規模改修の時期を迎えているので、優先順位を考えたい。

洋式トイレの割合(校舎内のトイレに限定して算出)

長久手小学校	16%	西小学校	29%	東小学校	37%
北小学校	43%	南小学校	30%	市が洞小学校	76%
長久手中学校	14%	南中学校	23%		

さどうゆみの考え

長久手小学校は築 42 年、西小学校は築 35 年が経過しています。現在、町内にある小中学校はすべて校舎を建設してから、一度も排水管の取り換えなどがされていません。老朽化した学校のトイレは掃除だけでは解決できない臭いがあります。近隣の市町では、建設されてから 30 年以上経過した学校のトイレの根本的な改修がすすめられています。

新設の第三中学校のトイレは 100%洋式です。「家庭での子どもの利用実態を考慮して。」という理由だそうです。そうであれば洋式トイレの割合が低い学校のトイレを早急に改善する取り組みをしないのはおかしいことです。「原則 1 カ所のトイレに 1 つは洋式を設置するようにしている。」との答弁がありました。生徒数に対してそれでは不十分です。

「子どもたちの未来のために」をうたい当選した町長には、洋式の割合が低くトイレ臭のする学校の環境改善を後回しにすることがないようにしてほしいです。子どもたちが長い時間過ごす生活の基本となる学校のトイレを早急に整備することは、優先課題だと私は考えます。

## 桧ヶ根公園の水遊び場の安全管理は十分か 水質検査はただの記録だった!

**Q** 水質検査はどのような方法で行っているのか

**A 建設部長** 6月から9月までの4カ月間、1日1回遊離残留塩素濃度、水素イオン濃度、濁度などの検査をし、月に1回大腸菌群の検査を業者に委託している。

**Q** 水質検査のデータは1か月分まとめて役場の担当課に届き、検査結果の数値を受けて何も対応していないのは安全管理を怠っているのではないか。

**A 建設部長** 今後は、水質検査の結果をもとにその都度対応していく。

**Q** 1か月間減った水のみ足して循環させていることの周知を図るべきではないか。

**A 建設部長** 利用方法とともに循環についての周知をしていきたい。

さどうゆみの考え

約 20 年前に桧ヶ根公園を造ったときの基本計画には、「夏期には水遊びのできる涼しい空間、冬期には噴水美を鑑賞できる空間を演出する水景施設を設置する」とあります。水遊びの目的だからこそ、長年に渡り夏場の4か月間水質検査を実施してきたのでしょう。しかし、町は水質検査の数値を受けて何も対応しておらず、塩素の投入などを機械任せにして放置していたのは、あまりにも無責任なことです。

遊離残留塩素濃度については、県のプール条例の基準 (0.4mg/L ~ 1.0mg/L) を参考にしているということですが、今年 8 月では 1 日も基準を満たしていません。保健所に聞くと、「基準より下回ると、プール熱やアデノウイルス、レジオネラ菌などを殺菌することができず、子どもたちが伝染病に感染する可能性がある。」、また「基準を上回ると目に刺激が強いなど、体にとってよくない。」とのことでした。

水は 1 月に 1 回しか入れ換えを行わないため、看板などを設置して利用者にはできるだけ水が体内に入らないよう注意喚起することが必要だと考えます。私は、来年の夏にも水質検査のデータを取得し、十分改善されたのか引き続き確認をしていきます。

桧ヶ根公園池水質記録表

8月表より一部転載	月	日	時間	せせらぎ	残留塩素	噴水	
15	月	11	: 15	0.05	mg/l	0.3	mg/l
16	火	11	: 30	0.05	mg/l	0.2	mg/l
17	水	14	: 40	0.1	mg/l	0.2	mg/l
18	木	15	: 10	0.05	mg/l	0.2	mg/l
19	金	10	: 30	0.05	mg/l	1.5	mg/l
20	土	11	: 30	停止中	mg/l	停止中	mg/l

●基準を満たしていません。

12月議会の予定  
 11月30日 本会議  
 12月1日 本会議  
 12月5,6,7日 一般質問  
 12月9,12,13日 常任委員会  
 12月15日 議会運営委員会  
 12月19日 本会議(討論採決)  
 ぜひ、傍聴にお越しください。  
 議場は、役場本庁舎2階にあります。

## N-バス、リニモ、名鉄バスの利便性向上を

**Q** N-バス、リニモ、名鉄バス全体が町内の公共交通網であり、N-バスに限らず、リニモ、名鉄バスに関しても、高齢者、障がい者パスを導入すべきではないか。

**A 生活環境部長** N-バスは運賃を無料にしており、「高齢者外出促進事業」としてリニモ乗車券の交付もしているので、リニモや名鉄バスの高齢者、障がい者パスを実施する予定はない。

**Q** リニモ支援には今後数年間も年間約 2 億円の税金が使われる予定である。「今あるものを有効に活用する」という意味でもリニモに高齢者、障がい者パスを導入すべきではないか。

**A 生活環境部長** 改札の導入費用に 1500 万円ほどかかるので、実施しない。

**Q** Nバスは、現状のままでよいのか。

**A 町長** 「N-バスプロジェクト」を立ち上げ、住民のみなさんと一緒にルートなどを協議したい。

さどうゆみの考え

私は、高齢者、障がい者が積極的に外出できる環境整備をすすめたいと考え、

N-バスに限らず、リニモ、名鉄バスにも高齢者、障がい者パスを導入することを提案しました。名古屋市では、日中に敬老パスを利用して多くの高齢者が出かけている様子が見られます。高齢者、障がい者パスの導入は、心身の健康維持につながり、ご自身で車を運転する負担をなくすこともできます。

昨年 7 月に行われた公共交通利用実態調査アンケートにおいて「公共交通で行けるとよい施設 1 番目はどこか」という問いに対して、最も多かった回答は「愛知医科大学」、次いで「役場」と「藤が丘」がほぼ同数でした。N-バスのルートを見直し、町内のさまざまな地域からこのような住民ニーズの高い場所に行けるようにする必要があります。「N-バスは住民の財産なので、住民のみなさんとルートなどを協議したい。」という町長の答弁がありました。これまでとは違う住民参加のN-バスになることを期待します。

また、リニモ支援には今後も継続して税金が投入されるため、住民にとってより有効な使い方をしていく必要があると考えます。